

学会ハイライト

第34回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会 を終えて

(平成30年4月28日, 29日, 仙台市, 仙台国際センター)

谷田 泰男

谷田皮膚科医院

はじめに

平成30年4月28日, 29日に仙台市, 仙台国際センターにおいて第34回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会を開催させていただきました。今回は, 研究皮膚科学会, 日本皮膚科学会総会と2年続けて仙台市で開催された大きな皮膚科関連の学会の翌年に開催された学会で, 3回目でもあり当初は参加者が少ないのではないかと危惧されておりました。そこで, 日本皮膚科学会ではできないような形の学会を開催しようと考えて東北6県の先生方に援助もお願いして準備を行いました。

桜は足早に咲いて散り緑の季節となりましたが2日間とも天候に恵まれたさわやかな日となり, 全国から1,400名を超える参加者にお集まりいただき盛会裡に終了できました。それというのも, 事務局長・大井知教先生, 実行委員長・小澤宏明先生, プログラム委員長・柿沼誉先生, 財務委員長・落合由理子先生, 青森, 秋田, 岩手, 山形, 福島各県支部の皆様のご協力の賜物と考え, 会頭として深謝いたします。

学術大会のテーマ

今回は「皮膚科医の未来を見据え皮膚科の将来



図1 著者と学会運営スタッフ



図2 展示場

を議論する」をテーマとしました。ここ数年の間に30名を超える大学教授が退官されます。そこで、「達人が語る皮膚科診療この30年の変遷～疾患のコンセプトから治療動向まで～」と題して、京都大学名誉教授・宮地良樹先生、東京女子医科大学名誉教授・川島真先生、大阪大学名誉教授・片山一朗先生、赤坂虎の門クリニック・大原國章先生、藤田保健衛生大学教授・松永佳世子先生に、ご自分の研修時代から研修を重ね教授となって新しい皮膚科学を作ってこられた、これまでの生き方について専門的立場からお話をいただくスポンサードシンポジウムを行いました。

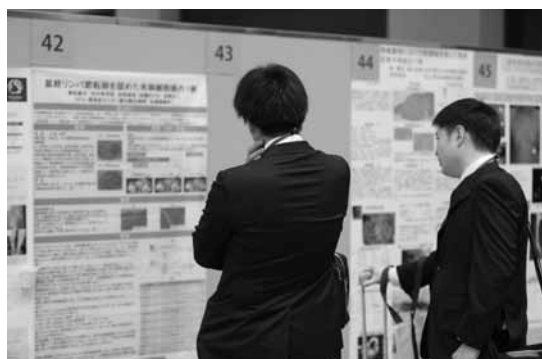


図3 ポスターセッション

「他科と皮膚科の関連を知る」では、東北大学呼吸器内科・小川浩正先生に睡眠呼吸障害との関連について、東北大学大学院医工学研究科・医学系研究科・阿部高明先生にはミトコンドリア病と皮膚の関連についてのスポンサードシンポジウム、「勤務医にエールを」では皮膚科勤務医が病院内で地位向上するための仕事の仕方について、仙台赤十字病院・田畑伸子先生と高松赤十字病院・池田政身先生にお願いしてスポンサードシンポジウムを行いました。

さらに「あたらしい皮膚科学第3版を出版して」、「大震災に備えるー被災地からの提言」、「蕁麻疹と類縁疾患を学ぼう」、「学び直そう、脱毛症」、「膠原病ーこの皮疹を見逃すな」、「感染症up date」、「がん治療をリードする皮膚腫瘍学：全てのがんの克服を目指して」、「アトピー性皮膚炎一名医の



図4 懇親会でされた鏡びらき



図5 懇親会にてビールサーバーでサービスする岩手医科大学遠藤幸紀先生



図6 弘前サテライトセミナーで講演される大原國章先生

話を聴こう」,「接触皮膚炎のマイスターが語る忘れられない症例」,「他では聴けない乾癬の話」,「美しい方はより美しく, そうでない方も美しく〜美容皮膚科」,「食物アレルギー最前線」,「知っ得! これからの皮膚科」,「褥瘡治療を振り返る」,「熱傷」,「掌蹠膿疱症—あの話, この話」,「今年の春は爪美人」のシンポジウムを行いました。

文化講演

往復48キロ, 標高差1,300メートル超の獣道を, 一日も休まず登り下りする奈良県吉野の大峯山で千日回峰行の史上2人目の満行者, さらに飲まず・食わず・寝ず・横にならずを9日間続ける四無行を満行し2003年に仙台市秋保に慈眼寺を開山した塩沼亮潤大阿闍梨に毎日が小さな修行というお話をいただきました。

土肥慶蔵著書とムラージュ展示

土肥慶蔵著『皮膚科学』を伊藤光政先生より,『世界梅毒史』を笠井達也先生から寄贈いただき, 北海道大学の貴重なムラージュを貸し出していただきました。ともに貴重なものですのでガラスケース内に入れ写真撮影を禁止し, ガードマンによる警備を行いながら展示しました。

ポスター賞

金賞：原正啓「アトピー性皮膚炎急性増悪にお



図7 弘前城と岩木山

ける好酸球増多および自然免疫の関与」. 銀賞：落合由理子「Exercise-induced purpuraと思われる1例」, 藤村卓「非侵襲熱物性計測による悪性黒色腫の早期診断手法の開発」, 角田孝彦「東北発の3つの手術・手技」. 敢闘賞：渡邊昌彦「MRI画像所見が診断に有用であった一次性本態性脳回転状皮膚の1例」, 三好研「保育園における伝染性軟属腫の実態調査」が受賞されました。

弘前サテライトセミナー

これからの皮膚レーザー治療のあり方・色素レーザーからQスイッチレーザー・ピコ秒レーザーまでと題して赤坂虎の門クリニック・大原國章先生と東海大学形成外科・河野太郎先生にお願いしました。弘前のサテライトセミナーも, 100名が仙台から移動して参加。石垣修理のため曳家で移動した弘前城と100周年の弘前さくら祭りと重なりました。天候にも恵まれた弘前の桜は, 花いかだ, 葉桜, 七分咲き, 満開の桜がみられ, 参加された皆様には楽しんでいただけたと思います。

おわりに

今回の日本臨床皮膚科医会は日本皮膚科学会総会ではできない形の学会を行おうと考えました。展示場内の飲み物コーナーには東北6県のお勧めソフトドリンクと地ビールを準備しました。各展示コーナーでもソフトドリンクに限らずアルコー



図8 懇親会 岩手・さんさ踊り



図9 懇親会 山形・花笠踊り

ルのサービスも可となりました。懇親会では各県のお勧めの日本酒とソフトドリンクを準備、東北6県の美味しい食べ物を用意、余興も岩手・さんさ踊り、山形・花笠踊り、秋田・なまはげを楽しんでいただきました。スポンサードシンポジウムとシンポジウムでは、明日からの診療に役立つお話をしていただきました。協賛していただいた会社に対しては金賞は賞状と盾、銀・銅賞は賞状を授与しました。

仙台での参加者は1,400名を超し弘前も100名が移動してくださり、これからの診療に役立つ演題がたくさんできたのも参加した皆様や学会を運営してくださった皆様のおかげと考えており会頭として御礼申し上げます。



図10 懇親会 秋田・なまはげ